

介 護 ロ ボ ッ ト 導 入 計 画 書

法人名 (社会福祉法人たんぼぼ福祉会)

事業所名 (地域密着型特別養護老人ホームたんぼぼ鶴の里)

サービス種別 (地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名		
見守り支援		見守り支援システム「眠りSCAN」 (パラウントベット株式会社製)		
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)	
30年 9月 1日	3台	30年 9月 1日	年 月 日から	年 月 日まで

【事業概要及び導入スケジュール】

事業概要：本製品の導入により、ご利用者及び職員の負担軽減を図る。

負担軽減内容 ご利用者：ご利用者様の睡眠行動の把握により、転倒等のリスク軽減及び自立に向けた支援を図る

夜勤職員：生活リズムの分析により見守り業務の効率化及び、心的負担の軽減を図る

導入スケジュール

交付決定後、速やかに発注導入を行い、職員に向けた使用説明会を実施する。

平成 30 年 9 月 1 日より運用を開始する。

【倫理面への配慮】

個人情報の取扱いに対し厳重に管理することを踏まえ、ご利用者様及びご家族等に対し説明をし同意の上、使用する。

【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)

ご利用者様の生活リズムを把握することで、職員が心的負担を減らしゆとりをもつことでより安心したサービスの提供を目標とする。

ご利用者様のベットからの離床時にかかる転倒・転落のリスクを減らす。(事故件数の減少)

【介護ロボット導入により期待される効果等】

- ・ご利用者様の転倒・転落によるリスクの減少
- ・生活リズムの把握による睡眠の質の向上
- ・職員の見守り業務における負担の減少
- ・職員の夜間勤務等における心的負担の減少

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人たんぽぽ福祉会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム たんぽぽ加茂の里)
 サービス種別 (指定介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名		
見守り支援		見守り支援システム「眠り SCAN」		
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)	
平成 30 年 9 月 1 日	10	平成 30 年 9 月 1 日	年 月 日から	年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>【事業概要】 「眠り SCAN」導入により、見守り業務（特に夜間の覚醒・睡眠・起居・離床）の効率化と介護従事者の業務負担軽減を図る。</p> <p>【導入スケジュール】 交付決定後、発注・導入を行い、機器使用に関する勉強会（9月上旬）の開催。 9月中旬より運用を開始。 毎月、事故予防対策委員会にて経過報告。</p>				
<p>【倫理面への配慮】</p> <p>入所者もしくは、家族に対し見守り支援システム使用について、目的や効果等に関する説明を行い、同意を得たうえで使用。 取得した情報については厳重に管理する。</p>				
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】（3年間目処）</p> <p>入所者の状況（睡眠や動作、呼吸状態等のバイタルなどの変化）をリアルタイムで把握する事により、転倒転落等の事故予防や異常時の対応体制の強化を図る。 特に夜間の介護従事者の心理的・身体的な業務負担を軽減することを目標とする。</p>				
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <p>入所者の就寝時の転倒、転落等の事故予防や徘徊予防、夜間行動の把握。 バイタルや睡眠状況の把握し、ケアプランの見直しや機能向上や回復効果に繋がる生活リズムの作成。 夜間の見守り時も介護従事者の精神的・心理的・身体的な負担の軽減に期待される。</p>				

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 貞徳会)

事業所名 (明範荘特別養護老人ホーム)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援システム		眠りスキャン (パラマウントベッド社製)	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
30年 9月 1日	3台	30年 9月 1日	年 月 日から 年 月 日まで

【事業概要及び導入スケジュール】

当該助成金採択後に速やかに諸手続きを経た上で、当該施設への導入を図ります。また同時に使用対象者、ならびにそのご家族への説明を行った上で、速やかに使用を開始します。

平成30年9月1日導入(予定)日に、本機器の使用に関わる職員に対して、改めて使用に関する説明を行い、即日中に本機器の使用を開始します。

また導入後は下記に掲げた目標の達成度合い、使用効果等の評価を行い、必要に応じて使用に関わる職員と使用方法の見直しや検討を図ります。

【倫理面への配慮】

当施設ではすでに本機器の導入を行っているため、説明は逐一行っておりませんが、本年度もご家族が集まれる場面(家族会)等で使用の方法や使用した成果等について報告を行います。

対象者個々に対しては、ケアカンファレンス等で本機器を使用することや、使用した結果、使用することで得られたデータに基づいたケアの展開方法等を丁寧に説明いたします。

【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)

- ・対象者の動作の状態(覚醒・睡眠・起居・離床、心拍数等)を、ICT機器にリアルタイムで転送されたデータをもとに、対象者の詳細な生活リズムや身体状況の把握に努め、それによって職員の業務負担軽減や対象者の転倒転落のリスク軽減につなげる。
- ・看取り期に入った対象者への活用を推進し、当該期の対象者の家族への適切な情報提供や、刻一刻と変化する当該期の適切なケア方法の実践につなげる。

【介護ロボット導入により期待される効果等】

- ・対象者のベッドからの転落リスクのマネジメント。
- ・詳細な睡眠リスクの把握等による個別ケアの充実。
- ・職員の見守り業務の負担軽減。
- ・早朝や夜間等の配置人員が減少する時間帯における、職員の精神的、身体的ストレスの軽減。
- ・対象者家族に対するより詳細な生活データの開示。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 貞徳会)

事業所名 (明範荘短期入所生活介護)

サービス種別 (短期入所生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援システム		眠りスキャン (パラマウントベッド社製)	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
30年 9月 1日	1台	30年 9月 1日	年 月 日から 年 月 日まで

【事業概要及び導入スケジュール】

当該助成金採択後に速やかに諸手続きを経た上で、当該施設への導入を図ります。また同時に使用対象者、ならびにそのご家族への説明を行った上で、速やかに使用を開始します。

平成30年9月1日導入(予定)日に、本機器の使用に関わる職員に対して、改めて使用に関する説明を行い、即日中に本機器の使用を開始します。

また導入後は下記に掲げた目標の達成度合い、使用効果等の評価を行い、必要に応じて使用に関わる職員と使用方法の見直しや検討を図ります。

【倫理面への配慮】

在宅での生活リズムが不安定な方に対しては、対象者、またはそのご家族に本機器の使用の提案を事前に行い、使用後に得られたデータ、そのデータに基づいたケアの展開方法等を丁寧に説明いたします。

【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)

- ・対象者の動作の状態(覚醒・睡眠・起居・離床、心拍数等)を、ICT機器にリアルタイムで転送されたデータをもとに、対象者の詳細な生活リズムや身体状況の把握に努め、それによって職員の業務負担軽減や対象者の転倒転落のリスク軽減につなげる。
- ・看取り期に入った対象者への活用を推進し、当該期の対象者の家族への適切な情報提供や、刻一刻と変化する当該期の適切なケア方法の実践につなげる。

【介護ロボット導入により期待される効果等】

- ・対象者のベッドからの転落リスクのマネジメント。
- ・詳細な睡眠リスクの把握等による個別ケアの充実。
- ・職員の見守り業務の負担軽減。
- ・早朝や夜間等の配置人員が減少する時間帯における職員の精神的、身体的ストレスの軽減。
- ・対象者家族に対するより詳細な生活データの開示。
- ・睡眠・覚醒のデータ提供を介護者に行うことによる在宅生活の質の改善の提案。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人ケアマキス)
 事業所名 (ショートステイケアマキス柴田)
 サービス種別 (短期入所生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名		
見守り		眠り scan		
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)	
30年 9月 1日	1	30年 9月 1日	年 月 日から	年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>事業概要 利用者の睡眠状況を把握し、夜間の巡視や排泄介助などの介護サービスを生活や行動に合わせて提供していくことを目指す。</p> <p>導入スケジュール 平成30年4月24日デモ機導入 平成30年5月9日デモ機返却 平成30年6月20日導入実績のある他施設へ見学 平成30年9月眠り scan 導入 (予定) 平成30年9月実績報告提出 (予定) 平成31年4月導入効果報告1回目 (予定) 平成32年4月導入効果報告2回目 (予定)</p>				
<p>【倫理面への配慮】</p> <p>1 モニターに表示される画像は本人の動作のみなので、個性を認識できないように配慮した仕様になっている。</p> <p>2 非接触・無拘束の見守りシステムなので、利用者に身体的・精神的拘束感を与えない。</p>				
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <p>利用者の睡眠状態を把握し、介護サービスの質を向上させる。夜間時の無駄な訪室を減らすことでスタッフの業務負担を軽減させる。(約30%の夜間訪室減少)</p>				
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <p>睡眠の状況に合わせた居室訪問、オムツ交換などの身体介護の提供</p>				

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人慈雲福祉会)
 事業所名 (特別養護老人ホームコムネックスみづほ)
 サービス種別 (指定介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守り支援システム「眠り SCAN」	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
平成 30 年 10 月 1 日	4	平成 30 年 10 月 1 日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】 見守り支援により業務の効率化を図り、介護従事者の負担を軽減する。 2018 年 10 月頃：購入、10 月上旬：使用説明会、10 月中旬：使用開始 導入 3 ヶ月後：フォローアップ講習会 毎月サービス向上委員会にて経過報告</p>			
<p>【倫理面への配慮】 入居者様もしくはご家族にシステムの使用目的について説明し、書面にて同意を得た上で導入。 取得した情報は厳重に管理する。</p>			
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3 年間目処) 入居者の睡眠や動作、呼吸状態をリアルタイムでモニタリングし、データ化することで見守り業務 を見える化する。科学的根拠に基づいた問題の把握・立案を行い、日常の生活リズムを作ることで、 特に夜間介護従事者の業務負担を軽減することを目標とする。</p>			
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】 入居者の睡眠の深さや覚醒状態を端末で把握できるため、これまでスタッフの経験値や予測のもと に行っていた介護アプローチが、科学的なデータに基づくアプローチとなる。これにより、不安定な 睡眠状態の入居者の覚醒時間への対応をケアプランから見直し、生活リズムを作ることで、認知症高 齢者の問題行動軽減に繋がる。また、夜間巡回業務における、肉体的・精神的負担の軽減が期待され る。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 来光会)

事業所名 (介護老人福祉施設いわと)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名		
見守りシステム		メーティスPRO (パラマウントベッド社製)		
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)	
H30年10月1日	1台	平成30年10月1日	年 月 日から	年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】				
<p>離床CATCHⅢ内臓のベッド「メーティスPRO」を導入し、特に夜間ベッドからのずり落ち、転落の多い入居者に使用し、夜間帯の入居者の方の転落・転倒事故防止と見守りの効率化を図る。</p> <p>平成30年7月申請 平成30年10月導入</p>				
【倫理面への配慮】				
使用する入居者本人及びそのご家族のシステム使用についての説明と同意を得た上で使用する。				
【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)				
<p>ベッドからの転落・転倒事故の減少 介護職員の身体的・精神的負担の軽減</p>				
【介護ロボット導入により期待される効果等】				
<p>離床CATCHⅢは、利用する入居者の状態に合わせた通知タイミング(起き上がり、端座位、離床)が設定できるため、その方に合わせたより正確なナースコールによる呼び出しが可能になるため、転倒・転落防止の効果が期待できる。</p> <p>利用する入居者の状態に合わせてナースコール設定できるので、頻回なナースコールや誤コールなどが軽減でき、介護職員の身体的・心理的負担の軽減が期待できる。</p>				

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 長福会)

事業所名 (デイパーク大府短期入所事業所)

サービス種別 (短期入所生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り		見守りケアシステム M1 (FRB-N132 W2/M1)	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
H30年12月1日	2	H30年12月1日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 事業概要 「見守りケアシステム M1」の導入により見守り業務の補助、効率化をはかり、業務負担の軽減を図ります。また利用者様の安全をより確保することで、事故防止の取り組みを行っていきます。 導入スケジュール 当該助成金の採択後、諸手続きを経て、導入を図り、使用対象者に説明をし、使用を開始していきます。 音響室で利用			
【倫理面への配慮】 ご利用者及びご家族に対し、ロボット導入、システム等について説明を行い、同意を得たうえで、利用を開始します。			
【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処) ① 転落、転倒事故の防止や減少 ② センサー誤報による駆け付け頻度の減少 ③ ナースコール等利用できない方への事故予防			
【介護ロボット導入により期待される効果等】 ① ご利用者の転落転倒事故の削減 ② 誤報が少ないセンサーの利用により、介護労働力の削減をはかり、介護負担の減少 ③ 生活リズムの把握により、適切なケアの充実 ④ 配置人員が減少する場面において職員の精神的、身体的ストレスの軽減 ⑤ ご利用者の安全確保			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 長福会)

事業所名 (第一老人デイサービスセンターデイパーク大府)

サービス種別 (通所介護事業所)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り		見守りケアシステム M1 (FRB-N132 W2/M1)	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
H30年12月1日	2	H30年12月1日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 事業概要 辞表まで使用 「見守りケアシステム M1」の導入により見守り業務の補助、効率化をはかり、業務負担の軽減を図ります。また利用者様の安全をより確保することで、事故防止の取り組みを行っていきます。 導入スケジュール 当該助成金の採択後、諸手続きを経て、導入を図り、使用対象者に説明をし、使用を開始していきます。			
【倫理面への配慮】 ご利用者及びご家族に対し、ロボット導入、システム等について説明を行い、同意を得たうえで、利用を開始します。			
【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処) ① 転落、転倒事故の防止や減少 ② センサー誤報による駆け付け頻度の減少 ③ ナースコール等利用できない方への事故予防			
【介護ロボット導入により期待される効果等】 ① ご利用者の転落転倒事故の削減 ② 誤報が少ないセンサーの利用により、介護労働力の削減をはかり、介護負担の減少 ③ 生活リズムの把握により、適切なケアの充実 ④ 職員の精神的、身体的ストレスの軽減 ⑤ ご利用者の安全確保			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 長福会)

事業所名 (第二老人デイサービスセンターデイパーク大府)

サービス種別 (通所介護事業所)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り		見守りケアシステム M1 (FRB-N132 W2/M1)	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
H30年12月1日	2	H30年12月1日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 事業概要 「見守りケアシステム M1」の導入により見守り業務の補助、効率化をはかり、業務負担の軽減を図ります。また利用者様の安全をより確保することで、事故防止の取り組みを行っていきます。 導入スケジュール 当該助成金の採択後、諸手続きを経て、導入を図り、使用対象者に説明をし、使用を開始していきます。 静養室にて使用			
【倫理面への配慮】 ご利用者及びご家族に対し、ロボット導入、システム等について説明を行い、同意を得たうえで、利用を開始します。			
【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処) ① 転落、転倒事故の防止や減少 ② センサー誤報による駆け付け頻度の減少 ③ ナースコール等利用できない方への事故予防			
【介護ロボット導入により期待される効果等】 ① ご利用者の転落転倒事故の削減 ② 誤報が少ないセンサーの利用により、介護労働力の削減をはかり、介護負担の減少 ③ 生活リズムの把握により、適切なケアの充実 ④ 職員の精神的、身体的ストレスの軽減 ⑤ ご利用者の安全確保			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人昭徳会)

事業所名 (特別養護老人ホーム安立荘)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り・コミュニケーション		エスパシア (離床センサーCATCHⅢ搭載電動ベッド)	
導入時期 (予定)	導入台 (セット) 数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
30年 10月 1日	8台	30年 10月 1日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】			
<p>ベッド更新に合わせて離床センサーCATCHⅢ搭載電動ベッド「エスパシア」を導入し、夜間帯を中心に介護職員等による入居者の方の転倒・転落事故防止と見守り業務の効率化・負担軽減を図る。</p> <p>導入スケジュール 平成30年9月注文 (予定) 平成30年10月導入・運用開始 (予定)</p>			
【倫理面への配慮】			
<p>当該製品を使用する入居者及び家族に対して、使用前に当該製品の説明を十分に行い、理解を得た上で使用を開始する。</p>			
【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)			
<ul style="list-style-type: none"> ・入居者の転倒・転落事故の軽減 ・介護職員等の身体的・精神的負担軽減 			
【介護ロボット導入により期待される効果等】			
<ul style="list-style-type: none"> ・入居者の状態に応じたセンサー設定 (起き上がり・端座位・離床) ができ、ナースコールによる呼び出しが可能なので、入居者の転倒・転落リスク軽減が図れる。 ・特に夜間等職員配置数が少ない場面で、介護職員の身体的・精神的な負担軽減が図れる。 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (医療法人愛生館)

事業所名 (老人保健施設ひまわり)

サービス種別 (介護老人保健施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
介護施設見守り		見守り支援システム「眠り SCAN」	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
平成 30 年 10 月 31 日	4 台	平成 30 年 10 月 31 日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>【事業概要】 「眠り SCAN」の導入により、見守り業務（特に夜間）の効率化と看護介護職員の業務負担軽減を図る。</p> <p>【導入スケジュール】 補助金交付決定後、速やかに導入する（平成 30 年 10 月導入予定）</p>			
<p>【倫理面への配慮】</p> <p>入所者及びご家族へ機能と使用目的の説明を行い、ご理解をいただいた上で適切に使用する。</p>			
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】（3年間目処）</p> <p>昨年度、4台を試行的に導入し、一定の効果が得られたため、さらに台数を増やし、入所者の状態（睡眠・覚醒・起き上がり・離床）の変化や呼吸数等のバイタルを把握し、転倒転落の事故防止および異常時の対応体制の強化をさらに図る。特に夜間の見守り時の看護介護職員の心理的・身体的な負担軽減を引き続き図る。</p>			
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <p>①台数を増やすことにより、②③の効果をさらに高めることできる。</p> <p>②ベッド上での睡眠・覚醒・起き上がり・離床行動が早期に把握できるため、転倒・転落事故を未然に防ぐことができる。</p> <p>③心拍呼吸数・睡眠状態を把握できるので、夜間の見守り時の看護介護職員の心理的・身体的な負担軽減となる。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 清明福祉会)

事業所名 (特別養護老人ホーム 建国ビハラー)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りベッド		見守りケアシステム M2	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
平成30年11月1日	4台	平成30年11月1日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>「見守りケアシステムM2」を導入する事で利用者の動きを検知し、ベッドからの転倒、転落予防に努めると共に見守り業務の補助、効率化を図り、業務負担の軽減を図ります。</p> <p>【導入スケジュール】</p> <p>平成30年11月 機器導入 平成30年11月 機器使用方法 説明会 実施 以降、各年度毎に使用状況を報告 適宜、機器使用方法のフォローアップ説明会を実施</p>			
<p>【倫理面への配慮】</p> <p>通常のベッドと全く同等品として取り扱う事が可能です。センサーベッドを導入する事で、御利用者本人への身体的、精神的拘束感を与える事はありません。</p> <p>御利用者及び御家族に対し、見守りベッドの導入、システム等に対して説明を行い、同意を得た上で、使用を行います。</p>			
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <p>①転倒、転落事故の減少：2割削減</p>			
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <p>① 利用者に対する転倒、転落事故の削減 (御利用者に合わせてセンサーモードを使い分ける事で転倒、転落の危険性を軽減するほか、認知症の方の徘徊による事故予防に努める)</p> <p>② 生活リズムの把握により、個別ケアの充実を図る。</p> <p>③ 誤報が少ないセンサーを使用する事で、介護労力の削減を図り、介護負担の軽減を図る。</p> <p>④ 配置人員が減少する場面で職員の精神的、身体的ストレスの軽減を図る。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人カリヨン福祉会)

事業所名 (特別養護老人ホームカリヨンの郷)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守りケアシステムM2	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
30年9月1日	2台	30年9月1日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>特別養護老人ホーム利用者の生活の質を確保するため、様々な介護サービスを提供すべく、見守り業務の補助及び効率化を図ることで入所者及び職員の負担軽減を図る。</p> <p>平成30年7月 機器設置事前調査 9月 機器導入、機器使用法説明会実施 導入～平成31年3月 評価及び改善</p>			
<p>【倫理面への配慮】</p> <p>通常のベッドと同等品として取り扱うことが可能であり、利用者に対して身体的・精神的苦痛を与えることなく、プライバシーなど十分考慮したうえで、施設利用者及び家族に説明を行い、了承を得たうえで対応する。</p>			
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <p>① 転倒及び転落事故の減少 ② センサー誤報による職員駆けつけ回数の減少</p>			
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <p>① 施設利用者の転倒及び転落事故削減、並びに安心感の向上。 ② 駆けつけ回数減少に伴う職員の身体的負担軽減並びに処遇改善。 ③ リクルート効果</p> <p>当施設ではこれまで様々な介護ロボットを活用して、職員の業務負担を軽減し、かつ利用者へのサービス提供に役立っている。他施設との差別化を図ることで離職率の低減効果が期待される。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 みどりの里)
 事業所名 (特別養護老人ホーム 豊水園)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
介護施設見守り		見守りケアシステムM2	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
平成30年9月1日	2台	平成30年9月1日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>事業概要：転倒リスクの高い利用者様に活用することにより、個別に合わせた離床予知センサーをナースコールに連動させることで迅速な対応をすることでき、転倒事故を防ぐ事に役立つ。特に、少ない人員で対応する夜間ではリスク低減に大きな役割を果たすことが見込まれる。また、低床に設定できることで端座位の安定を図ることができる。</p> <p>導入スケジュール：平成30年8月中旬 低床3モーターベッド2台購入 平成30年9月1日 運用スタート</p>			
<p>【倫理面への配慮】</p> <p>上記システム使用前に利用者様及びご家族に対し、使用目的の同意を得る。</p>			
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <p>① 離床予知センサーにより、転倒・転落事故を軽減する。 ② 夜間帯の睡眠状態を把握し、健康管理や徘徊などのリスク軽減に役立つ。 ③ 夜勤職員の業務効率が上がり、業務量軽減に繋げる。</p>			
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <p>① 離床センサーがナースコールに連動されることで迅速かつ正確に対応することができる。 ② 転倒リスクが高い方や夜間行動に課題のある方に活用することで介護事故の軽減や認知症の症状に対してのケアに役立つことができる。 ③ ①②により、夜間職員の業務効率が上がり、業務量軽減や他利用者への関りが増える。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 名古屋ライトハウス)
 事業所名 (特別養護老人ホーム 瀬古第一マザー園)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りシステム		エスパシアシリーズベッド(KA-N 1710F) (パラマウントベッド社製)	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
平成30年10月1日	6	平成30年10月1日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>ベッドの老朽化に伴う更新に合わせ、ベッド内蔵型離床センサー・離床CATCHIIIを搭載した「エスパシアシリーズベッド(KA-N 1710F)」を導入し、特に夜間帯の利用者の転倒事故防止と見守り業務の効率化を図る。</p> <p>平成30年9月 機器設置事前調査 10月 機器導入、機器使用方法の説明会開催 平成30年10月～平成31年3月(評価及び改善)</p>			
<p>【倫理面への配慮】</p> <p>通常のベッドと同等品として取り扱うことが可能であるが、使用する利用者とそのご家族に説明を行う。</p>			
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <p>現在、使用しているセンサーマットや足元センサーでは誤報を多く、介護職員の負担となっているとともに、同時に鳴った時に間に合わず、夜間の転倒事故も年々増加傾向にある。導入後は、的確に利用者の状況を把握し、転倒・転落事故の削減による介護サービスの質の向上を目的とする。</p>			
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <p>①利用者の状態に合わせたセンサー設定(起き上がり・端座位・離床)により、正確性の高いナースコールの呼び出しが可能となるため、転倒・転落事故の防止が期待される。 ②転倒・転落事故の減少により、利用者利用者家族からの満足度の向上が期待できる。 ③職員配置数の少ない夜間帯に必要なナースコールしか鳴らないことにより、介護職員の精神的・心理的負担の軽減が期待できる。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 王寿會)

事業所名 (特別養護老人ホーム幸王寿園)

サービス種別 (地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名		
見守り支援		見守り支援システム「眠り SCAN」 (パラマウント株式会社製)		
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)	
平成 30 年 10 月 1 日	3 台	平成 30 年 10 月 1 日	年 月 日から 年 月 日まで	
【事業概要及び導入スケジュール】				
<ul style="list-style-type: none"> ・当該補助金決定後に、速やかに諸手続きを行い導入を図る。 ・平成 30 年 9 月中に、導入機器の使用に関する研修会を開催して使用方法や使用目的の周知徹底を行ったうえで平成 30 年 10 月 1 日より使用開始を図る。 				
【倫理面への配慮】				
<ul style="list-style-type: none"> ・使用予定入居者様及びご家族様に、使用する経緯・使用する介護機器の説明を行い同意をして頂いてから使用を行う。 				
【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)				
<ul style="list-style-type: none"> ・入居者様の状況(睡眠・覚醒・起居・離床等)の把握を行い、個別の生活リズムに合わせたケアの実践を行っていく。転倒・転落の事故リスクの軽減に繋げる。 ・看取りケア時のバイタル把握を迅速に行い、ご家族様への情報連絡へ繋げる。 				
【介護ロボット導入により期待される効果等】				
<ul style="list-style-type: none"> ・睡眠・覚醒のリズムを把握することによる、個別ケアの充実。 ・入居者様の転倒・転落のリスク軽減。 ・介護職員の見守り業務の負担軽減。 ・看取り期の早期バイタル把握(レベル低下や呼吸停止等) 				

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 王寿會)
 事業所名 (グループホームあおぞら)
 サービス種別 (認知症対応型共同生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名		
見守り支援		見守り支援システム「眠り SCAN」 (パラマウント株式会社製)		
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)	
平成 30 年 10 月 1 日	2 台	平成 30 年 10 月 1 日	年 月 日から 年 月 日まで	
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該補助金決定後に、速やかに諸手続きを行い導入を図る。 ・平成 30 年 9 月中に、導入機器の使用に関する研修会を開催して使用方法や使用目的の周知徹底を行ったうえで平成 30 年 10 月 1 日より使用開始を図る。 				
<p>【倫理面への配慮】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用予定入居者様及びご家族様に、使用する経緯・使用する介護機器の説明を行い同意をして頂いてから使用を行う。 				
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入居者様の状況(睡眠・覚醒・起居・離床等)の把握を行い、個別の生活リズムに合わせたケアの実践を行っていく。転倒・転落の事故リスクの軽減に繋げる。 ・看取りケア時のバイタル把握を迅速に行い、ご家族様への情報連絡へ繋げる。 				
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・睡眠・覚醒のリズムを把握することによる、個別ケアの充実。 ・入居者様の転倒・転落のリスク軽減。 ・介護職員の見守り業務の負担軽減。 ・看取り期の早期バイタル把握(レベル低下や呼吸停止等) 				

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人瀬戸中央会)

事業所名 (特別養護老人ホームつばき)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名		
見守り支援		見守り介護ロボット aams		
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)	
30年 11月 15日	2セット	30年 10月 31日	年 月 日から	年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>【事業概要】 入居者様の転倒事故を未然に防ぎ、安心安全な生活を送って頂ける為のツールとして活用すること及び、職員が手薄になる夜間帯の負担軽減を目的とする。</p> <p>【スケジュール】 平成30年10月31日 環境整備 平成30年11月10日 導入前研修 平成30年11月15日 導入開始</p>				
<p>【倫理面への配慮】</p> <p>入居者様への接触もなく、緊急時への事故防止時にのみ対応 センサーの利用によりプライバシーや人権を尊重することが可能</p>				
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <p>入居者様の転倒を未然に防ぐこと・訪室を減らし入居者の眠りの質を高める 夜間における介護業務の負担軽減を図る</p>				
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <p>心拍・呼吸数・睡眠状態等が把握できることにより、転落・転倒を未然に防ぐことができる 排泄や身体異常を早期把握できることにより、特に夜間帯における介護職員の負担軽減につながる</p>				

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人葆光会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム藤美苑)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名		
見守り支援		見守りケアシステム M2 (FBR-N135W1/M2) フランスベッド		
導入時期 (予定)	導入台(セット) 数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)	
H30年11月1日	8	H30年11月1日	年 月 日から	年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>事業概要 見守りケアシステム導入により、見守り業務の身体的負担軽減、介護職員の精神的負担軽減を図り、且つ介護事故の発生を未然に防ぐ。</p> <p>導入スケジュール 当該助成金の採択後速やかに諸手続を経て導入を図り、使用対象者に対する説明を行った上で使用を開始します。</p>				
<p>【倫理面への配慮】</p> <p>ご利用者及びご家族に対して、導入する介護機器の説明を行い、同意を得たうえで使用します。</p>				
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <p>見守り業務の効率化を図り介護職員の業務負担を軽減すること。 また、効率的且つ効果的な見守り業務を徹底し転倒転落に関する事故発生件数を導入前よりも減少させること。</p>				
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <p>① ご利用者のベッドからの転落のリスク等の軽減 ② 介護職員の見守り業務の身体的、精神的負担軽減 ③ 人員配置が減少する時間帯に於いてのリスク管理 ④ 介護職員の負担軽減による職場環境整備の改善</p>				

(注) 介護ロボット毎に作成すること。